

CONFERENCE

7 January 2023 和訳資料



**Japan, Northern Ireland,
NORWAY**

Nina 自己紹介

あらゆるレベルの教育に携わる

14年間、中学校と高等学校で教鞭をとる

16年間、学校長・教頭(監察官)として勤務

2014年オスロで新しい公立国際小中学校を立ち上げ、指導。

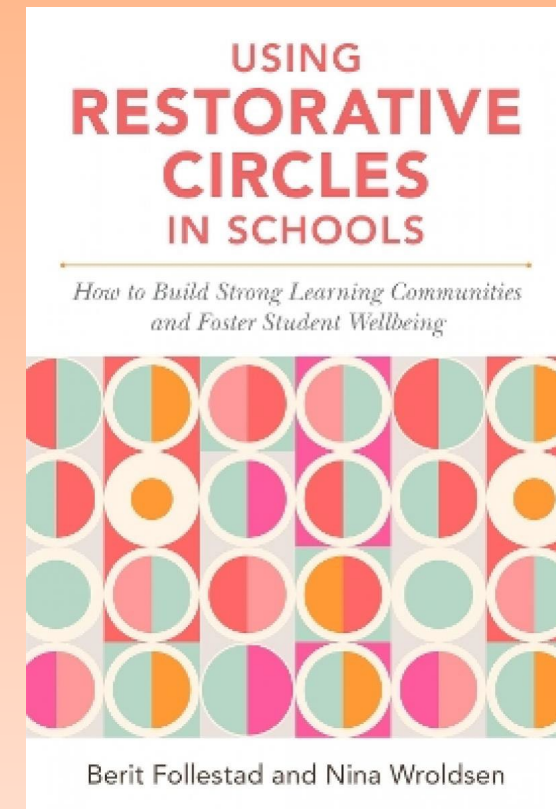
学校で使用する修復的対話サークルの共著者。

中学校の教科書の共著者。

アメリカ、ポルトガル、イスラエル、スウェーデン、アゼルバイジャン、ラトビアの会議で客員講師/プレゼンターを務める。

ノルウェーの安全な学習(Safe Learning)の理事

修復的正義ヨーロッパ会議(EFRJ)学校に関するワーキングメンバー





Norway

本日の報告

第1部 ノルウェーにおける修復的対話の簡単な紹介(ニーナ)

第2部 小学校における修復的対話サークルの活用」

社会教師レポート

生徒：若者の視点

A「私の学校における修復的対話の使い方」

(学生メディエーター)

B「安心して学ぶ若者」修復的対話の共有と若者の育成について

(シグリッド)

修復的対話実践の活用に関する部長レポート(ガンヒルド)

ノルウェー における 修復的対話 の実践

ノルウェーは、修復的対話の実践において、
25年以上の経験を持っています。

スκανジナビア諸国では、**ピア・メディテーションと
修復的対話実践の先駆者**として知られています。

修復的対話の活動は、ピア・メディテーションと規律や暴力防止に焦点を当てたものから、

良好な人間関係の構築と包括的で安全な校風に重点をおいた「**学校全体へのアプローチ**」へと変化しています。(修復的教育)

フェーズ

1



1995 – 2001年

2



2001 – 2010年

3



2010年 -

フェーズ

1

1995 - 2001

2

2001 - 2010

3

2010 -

- 法務省と調停サービス ‘Students Can’ が1995年から96年にかけて46の小中学校を対象に行った、学校におけるピアメディエーション国家プロジェクト。このプロジェクトは1998年 The Norwegian Centre for Child Researchから非常に良い評価を受けた。
- 教育訓練局 (Directorate for Education and Training)は、ピアメディエーションプロジェクトに全国の学校を招き、初等教育では600校以上が参加。中等教育では2年間実施された。全国から学校が参加し、大きな盛り上がりとなった。
- 2014年のピアメディエーション参加校（教育訓練局）
全小中学校の9% 全高等学校の5%が参加した。
- 2021年/2022年については、残念ながら正確な数値がない。

フェーズ

1

1995 - 2001

2

2001 - 2010

3

2010 -

主な焦点 関係性のある学校構築

- ・ 修復的対話実践は、主にピアメディエーションから「学校全体の修復的アプローチ」へと移行。
- ・ 修復的コミュニケーションと修復的対話サークルは、安全で強力な学習コミュニティを構築し、生徒のウェルビーイングを育むために活用されている。

2001年以降ピアメディエーションのフォローアップを担当する地方教育機関は各学校に時間や費用を優先的に配分。各学校は、修復的対話活動を継続するために時間と資金を優先させた。

○ピアメディエーションを活用する学校数は減少。

○修復的スキルを学級経営戦略の一環として用い、サークルでの指導と学習を学校内で活用していると報告する教師が増加。

○2010年 教育分野における修復的対話実践と修復的紛争解決の活動を支援・発展させるため、セーフ・ラーニング・ノルウェー（NGO）が設立された（www.trygglaring.no）

フェーズ

1



1995 - 2001

2



2001 - 2010

3



2010 -

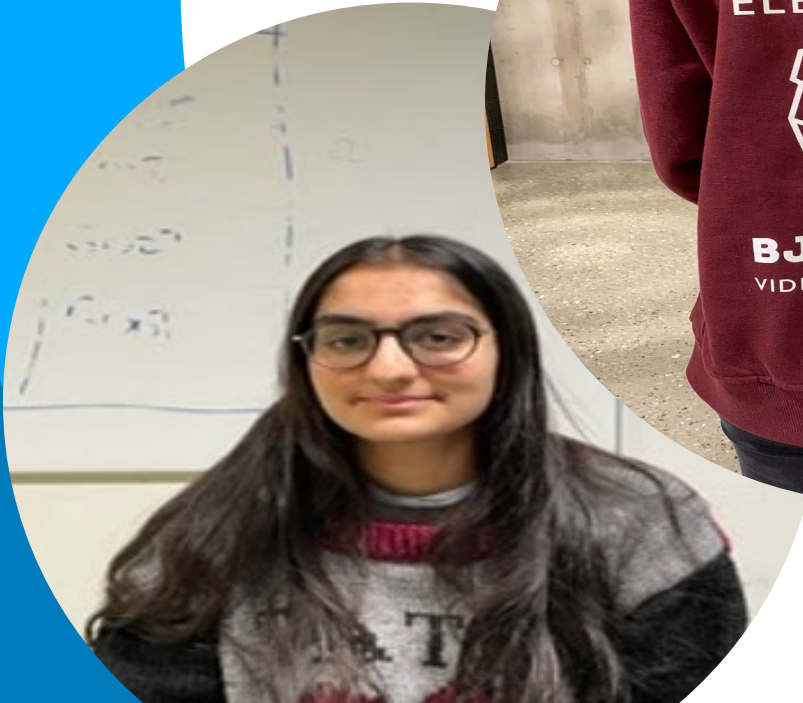
現在の主な焦点：修復的対話実践とピアメディエーション

子どもや若者の心理社会的な学習環境を強化し、排除、いじめ、暴力、人種差別を防ぐために、学校はどのように貢献できるのか？ 修復的対話実践は、教育や学習の不可欠な部分として、どのように学校で実施できるのか？

今日の修復的対話実践

- すべての学校関係者、職員、生徒、保護者を取り込む。
- 修復的対話実践は、一定の基準であり、普遍的な考え方であり、各学校が、独自の重点分野を選択する機会を提供する方法である。

生徒 メディエーター 高等学校



社会教育 教師



クリスティン・アーン
スジョー・バッケ
ンは、小学校で、
修復的対話の実践
Restorative Practices
(安全な学習)を行って
います。

クリスティンは、次のように説明しています。



同僚と修復的対話実践のコースに参加し、

「恋に落ちました」(セーフ・ラーニング・ノルウェー)。

私たちの学校で修復的対話を行う独自の方法を開発しました。

- ・ 私はすべての仕事で修復的対話を使っています。
- ・ 学校では、下記の修復的な問いを3つ用いています。
 - 1 ここで何が起こったのか？
 - 2 誰が傷ついたのか？
 - 3 この関係を続けるには、今何が必要ですか？

子どもたちと一緒に話をし、彼らの言い分や意見、

事件の背景にあるものを聞き、

全体像を把握することが大切です。



- 7年生がピアメディエーターになる申請をしています。
ピアメディエーターは、生徒間の対立を解決したり、休み時間にゲームをしたりする手助けをします。
- 修復的対話実践では「温かく」保つことが必要不可欠です。
例えば、友情、いじめ、インクルージョンなど、特定のトピックを強調するポスターを掲示する。
- 集会を通して、トピックを強調します。
- 保護者は保護者会で修復的対話実践について学んでいます。
- 保護者は、私たちが子どもたちと一緒に取り組むこの方法にとっても満足しています。
- 修復的対話実践は、生徒の社会的能力を開発するための素晴らしいツールです。



エテルスタッド高等学校

提供されている教育プログラム

- 電気・電子教育
- 技術・工業生産教育
- レストランと食品科学教育
- 販売サービスおよび観光教育
- 一般的な高等教育(大学進学)



エテルスタッドによる 戦略的な計画



リスク分析し — 対策を立てた

学生が経験した安全でない環境(2018年)

修復的アプローチ

即効性のある解決策なし - 学校文化の構築が必要

学校における修復的アプローチ
(Belinda Hopkins、2013年)

人間関係を
構築する
維持する
修復する

修復的な
応答

より深刻な問題への対応

日常的な課題、紛争、
反社会的行動に対する修復的な対応

修復的な教育法は、知識や実践的なスキルだけでなく、社会的な
スキルの指導と学習を促す。

人間関係とコミュニティの結束に焦点を当てる。

すべての人が自分の能力を発揮するために必要なものを特定し、
それに取り組む。

安全で包括的な学習環境 を提供する



修復的対話 サークル Circles



物事がうまくいかなかったときの 修復的な対応

人間関係が損なわれたとき

教師-生徒
生徒-生徒

教師-親
教師-教師



修復的なクラスルームとは ベリンダ・ホプキンスによれば

- 教育や学習が、自分自身、他者、カリキュラムとのつながりを作ることに基づいて行われる場所
- 誰もが、つながり、尊敬、相互理解を維持するための言葉を使う場所
- 断絶が生じたとき、修復的プロセスを用いて再びつながることが奨励される場所



若者から若者へのパースペクティブ 私たちは誰で、内をしているの？

NGO Safe Learning Young Norway

- 私たちは、紛争を解決するための良い方法を見つけるために集まっている若者です。
- 私たちは、若者たちに、非暴力コミュニケーションをトレーニングし、その知識をコミュニティの他の若者たちと共有できるように活動しています
- 私たちは、若者が若者を教育できることに焦点を当てて、異なる状況においてもお互いを助け合えるツールを提供し、責任を負うことができるようにトレーニングしています。



まとめ

- ノルウェーの学校における修復的対話実践の概要
- 実践者、生徒、社会科教師、学科長、教頭/校長たちの声
- 修復的対話サークルは役に立つ！ 関係者からのフィードバック
- 即効性はない-時間はかかる-しかし継続的なプロセスで、学校文化を構築する、学校の一部になる。
- 小さな一歩を踏み出す - 気楽に ⇒ 目的、理由、方法を説明する
- すべての関係者、教師、生徒、保護者、スタッフに修復的対話の実践と価値観を持ってもらう。
- 修復的対話実践は、「活気のある」「生き生きとした」状態に保たれていなければならない。
がんばって！

A circular image showing two people from behind, wearing hoodies, standing in a dimly lit area at night. The background is filled with blurred lights, suggesting an outdoor setting like a street or a public square. The overall mood is contemplative and somewhat somber.

"握った拳で
握手することはできない"

-マハトマ・ガンジー